



2019年8月30日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第172号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

## 今月の話題

- 中南米地震工学研修補完研修
- 中南米研修「ラテンアメリカにおける耐震構造技術の改善と普及」閉講式
- 研究論文最終発表会
- コロンビアの元研修生の訪問

## 研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

## 中南米研修在外補完研修

国際地震工学センター 主任研究員 諏訪田晴彦

7/15～7/27の期間、エルサルバドル国において、2019年度中南米研修(建物耐震技術の向上・普及コース)の在外補完研修が行われました。

在外補完研修は、JICAエルサルバドル事務所、国立エルサルバドル大学(UES)および私立ホセ・シメオン・カニャス中米大学(UCA)の協力に基づいて実施されているもので、主な目的は、中南米諸国では一般的な構造形式である“組積造”を対象として、エルサルバドルで使用される建築材料を用いた構造実験を実際に体験することを通じて、地震入力に対する組積造建築物の強度、変形および破壊性状等を理解することです。

具体的な実験内容としては、アドベ造の傾斜台実験、枠組み組積造壁およびコンクリートブロック造壁の水平加力実験等であり、これら複数の構造実験を短期間に経験できる大変貴重で有益な研修プログラムです。随行者である私も研修生とともに実験に参加し、実験における予測と観察などについて、いくつかのアドバイスを行ってきました。



## 地震データベース

2011年3月11日東北地方  
太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

## 論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



## 中南米研修「ラテンアメリカにおける耐震構造技術の改善と普及」閉講式

国際地震工学センター センター長 横井俊明

昨年と同様、約2週間の構造実験と関連講義(写真1と2)の後、標記研修の閉講式がエルサルバドル共和国サンサルバドル市において7月26日に実施されました。

JICA エルサルバドル事務所職員 Dera Irés Cortés 氏による開会の辞に続き、中米大学ホセ・シメオン・カニヤス(UCA)学長 Andreu Oliva 氏、エルサルバドル大学(UES)学長 Roger Aria 氏、横井(報告者)、住宅省大臣 Michelle Sol 氏、JICA エルサルバドル事務所職員斎藤氏が歓迎の言葉と祝辞を述べました。

その後、

「地震リスク管理の観点からのラテンアメリカに対する JICA の協力」(JICA 斎藤氏)

「ラテンアメリカ諸国における耐震技術の建設の改善のための国際協力」(横井(報告者))

の2講演に続き、研修終了後に開始した活動の事例が、帰国研修生である、Juan Pablo Peralta Peralta 氏(ドミニカ共和国公共事業通信省)、David Gutiérrez Rivera 氏(ホンジュラス国立自治大学)及び Magda Castellanos 氏(開発とミニマムハウジングのためのエルサルバドル財団(FUNDASAL)、エルサルバドル)により報告され、さらに、下の写真に示す様にパネルフォーラム「耐震建築における科学研究の役割」が行われました(写真3)。

次に、研修参加証を本邦研修から参加した9名の研修生と、サンサルバドル市における2週間の実験と講義に参加した10名のエルサルバドル人に、記念品と共に手渡しました。

最後に、Cesar David Méndez 氏(ONESVIE, ドミニカ共和国)が研修生代表として挨拶し、閉講式は無事終了しました。記念写真を写真 4 と 5 に示します。なお、今回は、ホンジュラス国立自治大学から 10 名の学生が、David Gutiérrez Rivera 氏とホンジュラス日本留学生協会(AHBEJA)の特別な御配慮により、実験と講義に参加しました。最後の 1 週間だけでしたが、この経験が彼らの勉学の励みとなることを確信しております。

このように嬉しい閉講式を迎えることができたのは、JICA, UES, UCA, FUNDASAL 等関係機関の御協力の御蔭です。この場を借りて感謝を申し上げます。この研修は人気が高く、少なくとも今後 3 年間は継続することが決まっています。このニュースレターを読んでいる中南米諸国の皆様が、御自身やその同僚、部下の参加を検討されることを望みます。iisee@kenken.go.jp に電子メールで御請求頂ければ、さらに詳細な情報を提供致します。



楽しむのは今です。



写真1 構造実験風景(UCA)



写真2 実験室へのプリズムの搬入(UES)



写真3 パネルフォーラム「耐震建築における科学研究の役割」



写真4 記念写真:中南米研修「ラテンアメリカにおける耐震構造技術の改善と普及」の9名の研修生(後列)、及びサンサルバドル市での2週間の講義と実験に参加したエルサルバドル人10名(前列)



写真5 帰国研修生との記念写真



## 研究論文最終発表会

国際地震工学センター 管理室長 山田高広

### 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

[iiseenews@kenken.go.jp](mailto:iiseenews@kenken.go.jp)  
<http://iisee.kenken.go.jp>

通年研修の研修生は、5月20日から研究論文を書くため、個別にそれぞれの指導者のもとで個人研修が実施されていました。8月9日には、久しぶりにすべての通年研修生が国際地震工学センターに集まり、個人研修の成果である研究論文の最終発表が行われました。約1年間の研修も残り11日間です。



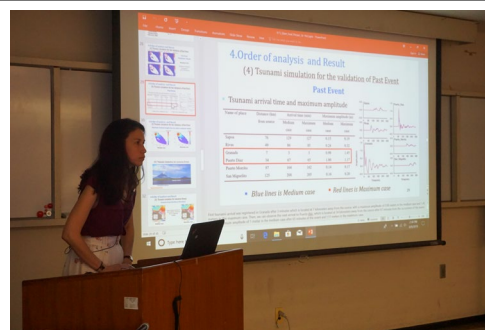
Eコースのファーデラさん



Sコースのヤンヤンさん



Eコースのアツパさん



Tコースのエリーさん

## コロンビアの元研修生の訪問

国際地震工学センター 研究員 鹿嶋俊英

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

2019年7月30日に1988-89年の地震工学コースに参加したコロンビア出身のルイス マヌエル エルナンデスさんがIISEEを訪問してくださいました。現在はカナダのトロントでコンサルタント会社を営んでいるそうです。日本への家族旅行の間につくばへ寄ってくださいました。私たちはいつでも元研修生の訪問を歓迎いたします。日本に来る機会がございましたら、躊躇せずに私たちにお知らせください。



右から鹿嶋さん、ルイス マヌエル エルナンデスさん、横井センター